

編集後記

2010年も過ぎ去って行きました。猛暑々々の…そうでした、学術集会の頃も暑かったのですが、あれはまだまだ始まりで、9月一杯は「まだまだ暑いですね」というのが、挨拶になっていました。その後、本当に駆け足の秋でした。急に朝晩が冷え込みだしたかと思ったら、まっしぐらに冬に突入って感じでした。2010年の流行語大賞は「ゲゲゲの〜」に決まったとか。そういえば、妖怪たちは、いろんな社会に潜んでいるようですが、科学技術関係でも「仕分け」によって、悲喜こもごもという印象もあります。私の関係している岡山県内の大多数の大学が関与している教育に関係するプロジェクトも「廃止」なんて回答が出されて、4月からの方向性自体が暗雲立ち込めている感じで、まさに五里霧中に近いです。ただ教育にしても医療医学にしても、そこで学んでいる若人たち、あるいは健康の不都合に苦しめられている患者さんたちがいる限り立ち止まる訳にも行かないですよ！やはり実験系であっても、今振っている試験管から出てくるデータが3年後、5年後の患者さんのためになるであろうこと、臨床系であれば、もっと直結して明日の患者さんのために、更に工学や環境学の関連であっても、それが人の健康に影響するのであれば、なおさら、10年後のすべての人たちのよりよい健康のために、という想いを、新たにしないとならないのかも知れません。2011年は兎年ですね。兎年生まれの方は、仲間と同伴して安全を図ろうとしちゃうので、団体に加入するのが好きだそうです。団体という縁の外では消極かも知れませんが、大部分は服従的で衝突を避けようってしちゃうらしいのですが、個々はとってとても優れた判断力の持ち主で真面目な方が多いそうです。そういう年回りで、我々の日本臨床環境医学会でも専門医制度などを立ち上げていくというのは、新理事長のもと、つながりを以ってみんなで力を合わせるといふ意味でも素晴らしい成果に至るのではないかと期待しております。12月の初めに、川崎医大附属高校入学から大学そして、最初10年の研修も附属病院で一緒だった、現在四国がんセンター形成外科部長(河村といいます)が、会長を務めたクリニカルパス学会に懇親会(＋二次会)のピアノ要員として呼んでもらって松山に行ってきました。高知日赤病院のベシストの先生もとってもお上手で、かつドラマーは松山でライブなどをされているプロの方だったので、とっても満足しちゃいました。二次会では集まったお医者さんや看護師さん、薬剤師さんたちのその場でのリクエストや、「○×○が歌いたい」といふ御要望に合わせて一杯演奏してきました。最近はどういった臨床各科さらには医療チームの多職種の横断的な学会も増えてきました。医療全体が患者さんに真摯に向き合っているのだらうって思っています。いろんなメモリーが詰まった2010年から新たな2011年に。すべての日本臨床環境医学会の会員の皆様が、そして本学会が向き合っている患者さんたちが、2011年には、思い出の引き出しに、ちょっとでもステキな箱を増やすことが出来ますように。

大槻

謝辞

「臨床環境医学」第19巻で査読をしていただいた先生方に感謝いたします。

大槻 剛 巳 先生	川崎医科大学	中井 里 史 先生	横浜国立大学
香山 不二雄 先生	自治医科大学	松木 秀明 先生	東海大学
木村 穰 先生	東海大学	柳沢 幸雄 先生	東京大学
坂部 貢 先生	東海大学	山内 博 先生	北里大学
鈴木 幸男 先生	北里大学	吉野 博 先生	東北大学
瀬川 昌也 先生	瀬川小児神経学クリニック	吉田 貴彦 先生	旭川医科大学

(事務局からのお願い)

ご住所、ご所属が変わった場合は必ず下記までご連絡ください。

メールアドレス：jscc@ahs.kitasato-u.ac.jp FAX：042-778-8073

複写をご希望の方へ

日本臨床環境医学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です)。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、日本臨床環境医学会へお問い合わせください。

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
Website <http://www.jaacc.jp/>
E-mail info@jacc.jp Fax: +81-33475-5619

臨床環境医学 第19巻第2号

2010年12月31日発行 本号頒価 4,000円(送料とも)

編集室:「臨床環境医学」編集室

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学医療衛生学部公衆衛生学教室
TEL/FAX 042-778-8073

発行所:日本臨床環境医学会事務局

〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学医療衛生学部公衆衛生学教室
TEL/FAX 042-778-8073

(振込先)日本臨床環境医学会事務局 代表 坂部 貢
三菱東京UFJ銀行恵比寿支店 普通 0579505

印刷所:城島印刷株式会社

〒810-0012 福岡市中央区白金2-9-6
TEL 092-531-7102 FAX 092-524-4411

本会会費:入会金 ¥2,000- 年会費 ¥8,000- (雑誌代を含む)

学生年会費 ¥3,000- (入会金免除)

入会希望者は上記学会事務局にお問い合わせください。